

1 A

## 英語（寺部）

休問題演習を重ねながら、テストで得点することを意識した指導を行なっています。単語テストだけでなく、單元ごとの範囲に限定されない混合問題をテスト形式で解き、点数化しています。「見たことがあるからなんとなく」では正答が難しいため、「わからない」と止まって考える習慣をつけられると期待しています。テストが多いとの訴えもありますが、英語も「わかるとおもしろい」という感覚を少しずつ味わって、積極的に取り組んでくれています。今後も、語彙を増やすと同時に、文法の基本的な枠組みを理解して、「なんとなく」から、自信を持って正答できるようにしていねいに学習を進めていきたいと思えます。中1の範囲では、S（主語）V（動詞）を意識できるようになることが重要であり目標です。

## 数学（橋本）

### 1. 現在の授業と授業の進め方について

すばるでの授業が始まり、正負の数、文字式の単元が終了しました。現在は方程式の分野を進めています。

授業は「新中学問題集（新中間）」を使用して進めていきます。進度は、通常であれば学校より数単元先を行うこととしていますが、今年はコロナウイルスの影響もあり、学校とは進度にだいぶ差ができています。それでも、例年と比較すると進度は遅れ気味です。さらに、計算力がまだまだ足りていないと言えます。これは、例年であれば学校の授業がすばるの復習のような流れになり、定着度が向上するのですが、今年はすばると学校の進度が離れているため、十分な計算の復習ができていなかったと考えています。学校の授業も大事にしたいだけでなく同時に、iワークを用い、計算力の強化を図っていただきたいと思えます。

また、google classroom を利用して、小テストを実施しています。1年生の範囲の正負の数から文字式までのテストを実施しました。目標時間は設定していますが、各自がどれだけ時間をかけて解いたかは報告をしてもらっていないため、今後授業内で問題対応力・スピードなど確認していこうと考えています。計算の

間違いが多く見られているので、定期テスト前に計算チェックしミス無くしたいと考えています。

## 2. 定期テスト対策について

定期テスト 1 週間前を目安に、テスト対策授業を行います。内申点の観点別では、特に「見方・考え方」の成績が取りにくいいため、この観点を強化したいと考えています。しかしながら、これは日々の授業で「よく考える・理解する」ことに注力していないとなかなか伸びにくいいため、毎回の授業を大事にしたいです。そのため、定期テスト対策では、語句など知識を含め、全体的に忘れていないか、計算はできるか、思考系問題に対応できるかのチェックをすることが主となります。数学は、テスト前1週間で劇的に伸びる科目ではないため、それまでにどれだけ時間をかけ、また理解して練習してきたかで問題対応力が変わります。余裕をもって定期テストの準備をし、抜けがないか、問題がしっかり解けるかをチェックするテスト対策期間にしてほしいと思います。

## 3. 家庭での学習について

授業の復習を主とし、計算力の向上と思考系問題の強化に努めてほしいです。理解度が高い単元は問題演習を主とし、よくわからない問題はチェックを入れてよく考え、解説を読んで解き方を学んでください。解決できない問題は、必ず質問して理解する意識を持ってください。授業で学習したことをしっかり定着させるためには、定期的に確認（復習）することが大切です。チェックを入れた問題を重点的に復習し、類題はiワークを利用してください。難易度の高い問題やもっと問題演習をしたい場合は、プリントをお渡しします。

## 4. 今後について

引き続き新中間を進めていきます。方程式の文章題、比例・反比例と重要単元が続きます。よく考え答えを導き出せる実力をつけたいと考えています。意識づけとしては、復習をしっかりとし、理解が浅い単元・よくわからないことをしっかりクリアしていくこと、どんどん質問して解決できるようにしていきたいと考えています。もし煮詰まっていたりしたら、聞いておいでと軽く背中を押してあげてほしいと思います。よろしく願いいたします。

## 国語（熊谷）

中学校に入ると、国語はこれまでと違ってとてもしっかりと文章を読むこととなります。文章の仕組みや作り方を理解して、設問のパターンに慣れていき、またそうした作業をより素早くできるように、訓練していきます。とはいえ、まだ最初ですから様々な文章に触れて国語力を養っていけるよう、一緒にがんばりましょう。

また、広い意味での国語力は日常の様々なことから身につけていきます。そのためにも、身の回りのいろんなことに興味関心を持って日々を過ごせるような環境を作ってあげてください。